

事例 2 地域の安全・安心の確保に向けた災害復旧

(九州森林管理局)



- 福岡県朝倉市(あさくらし) 杷木赤谷(はきあかだに) 地区
- (左) 山腹崩壊の様子(平成 29 年 7 月)
- (右) 完成後の様子(令和 5 年 6 月)

九州森林管理局では、平成 29 年 7 月の九州北部豪雨により山腹崩壊や治山施設被害が多数発生した福岡県朝倉市において、県や市と連携し、被災箇所の早期復旧に取り組んでいます。

これまで、同市の民有林において、発災直後から応急対策を実施するとともに、平成 30 年度からは「朝倉地区民有林直轄治山事業(平成 30 年度～令和 9 年度)」に着手し復旧整備を進めてきました。この結果、令和 9 年度までに治山ダム 98 基・山腹工 12ha を施工する計画のうち、事業開始から 5 年目となる令和 4 年度末時点で、治山ダム 64 基・山腹工 9ha が完成しています。

引き続き、地域の安全と安心の確保のため、令和 9 年度内の事業完了に向けて、関係機関とも連携しつつ取り組んでいきます。